

大志を育む



令和2年9月30日

教育委員会だより

No. 36

発行：北広島市教育委員会

北広島市の生徒指導

指導主事 岡本 仁

北広島市では、市内各小中学校の生徒指導担当者が定期的に集まり、校外生活の決まりを検討したり、市内の危険箇所、不審者、問題行動等の情報を共有しています。この他、大曲地区に隣接する清田区の教護協会にも参加して、子どもの生活の安心・安全に取り組んでいます。9月の会議では道警から、今年は長期の休校があったためか、繁華街や公園での少年の暴力事案が激増（10倍超）している状況が報告されました。深夜徘徊による補導も増加傾向とのことです。

市内では、暴力事案、深夜徘徊等の事故報告はありませんが、次の2点について先生方に啓発をお願いします。1つ目は、自転車を運転中の骨折等の単独事故が1学期は3件発生しました。小学生はヘルメット着用が義務です。青燈車でパトロールすると、一時停止無視、並走、逆走の自転車をよく見ます。命を守る運転をご指導ください。2つ目は、路上でスケートボード、プレイボード(Sボード)に乗っている小中学生を見かけます。歩道を含め路上で乗ることは「道路交通法違反」であることはもとより、自他の命の危険があります。安全な場所で十分に気を配って乗るようご指導ください。

昨年度は各校のPTA組織、生徒会を通じて、スマホ、ネット、ゲーム等の電子メディアの決まりづくりに、ご協力いただきありがとうございました。「アンビシャス4」のリーフを、ウェブページや校内掲示に活用いただきありがとうございました。担当した者の一人として嬉しい限りです。フォートナイトをはじめとする、ゲームを通しての会話や誹謗中傷によるトラブルが、小学校低学年からも報告されています。今後ともアウトメディア、アンビシャス4ルールの啓発をお願いします。

(デザインは江別市文京台小箕島校長 戦隊ものは市教委千葉部長のアイデア)



北広島市では、全国的な傾向と同様に「いじめ」と「不登校」が生徒指導上の大きな課題です。

いじめについては、昨年度は認知ゼロの学校がありましたが、今年度は市内全小中学校でいじめが認知されました。初期の段階でしっかり認知し、組織的に行動し対策することが大切です。「いじめ」には法律があります。法と通知、方針に則った、手順と対応が学校に求められます。担任一人で何もかも対応できるものではありません。学校全体で「いじめ見逃しゼロ」を目指してほしいと思います。

不登校には、様々な原因があります。以前は、怠学傾向やネット依存が多くありましたが、変わって増加傾向にあるのは、病的なもの、強迫性障害です。また、起立性調節障害等は適切な医療機関での治療が求められます。一方で、児童生徒自身の問題ではなく、保護者の問題で不登校になっている場合があります。特に保護者が心に問題を抱えている場合は、子どもは「過干渉」と「ネグレクト」という両極端の影響を受けることもあります。学校だけでは解決できないことも多く、他機関につなぐケースもありますが、早い段階で相談いただくことが何よりと考えます。教育委員会子どもサポートセンターは、子どもに寄り添う学校への支援が我々の使命と考えています。これからも、子どものために協力しあえる関係でありたいと思います。

広葉中校区小中一貫教育について

令和2年度の主な取り組み

4月

○第1回全体会議（4月2日）

広葉中学校区として、今後の小中一貫教育の進め方について協議しました。全ての教科において今後数年使える小中一貫重点題材を設定し、改善を加えながら進めていくことが改めて確認されました。また、内容をシンプルにした「新スタンダード」が決まりました。



4月の全体会議の様子



広葉中校区新スタンダード

6月

○第2回全体会議（6月3日）

新たな「推進部会」と「教科部会」を立ち上げ、全体会議で今後の取組等を確認した後、推進部会会議及び教科部会分科会を開催しました。「推進部会」に関しては、昨年度までの4つの部会構成を、北広島市の3本の柱にリンクさせる形で3部会構成に編成し直しました。新型コロナウイルスの影響で先の見通しが持ちにくい状況でしたが、小中の先生方が一体となって、今後の小中一貫教育の在り方について活発な議論がなされました。

☆新「推進部会」の構成と取組

◎学びと研究部会

- ・自ら考え、主体的に「表現」する力の育成

学力向上と授業改善、小中の接続と強みを生かす研究・研修、教育効果を生む合同・協働授業、学習方法・学習規律・習慣等、系統表の整理及び年間指導計画の重点化

◎大志学推進部会

- ・大志を抱き「チャレンジ」する力の育成

キャリア教育（大志学）の推進、夢ノートの活用、考え、議論する道徳の推進、総合的な学習の時間の充実、系統表の整理及び年間指導計画の重点化

◎生徒指導・児童生徒活動部会

- ・思いやりを持ち「えがお」で協力する力の育成

生活習慣の確立、体力の向上、生徒理解・生徒指導の充実、いじめ・不登校対応の一貫化、児童会生徒会活動の充実、ボランティア活動の充実



推進部会の様子



教科部会の様子

8月

○第3回全体会議（8月5日）

○第4回全体会議（8月25日）

夏休み前と夏休み明けの2回全体会議を持ち、教科部会を中心に話し合いを行いました。教科部会では「大志学」「保健・食育」を含めた11の部会に全ての先生方が関わる形で参加し、次年度以降、『担当が変わったとしても使える指導案』を目指して重点となる教材・題材の設定、北広島型指導案づくりに取り組んでいます。

様々な会議で小中の先生方が顔を合わせる中で、今まで見えているようで見えていなかった小中それぞれの様子や課題も分かり、全体会議はとても有意義なものになりました。今後も、11月のプレ月間に向けて推進部会、教科部会それぞれで必要に応じて集まり、話し合いを継続し、準備を進めていく予定です。

（文責 双葉小学校 五十嵐健児）